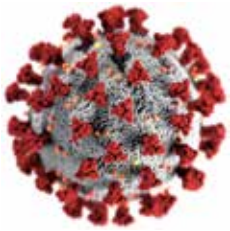
幌北福まち だより
お互いに支え合うやさしい街づくり

第４６号
令和４年９月15日
発　　行　幌北地区社会福祉協議会
編　　集　福祉のまち推進センター
後　　援　幌北連合町内会
幌北会館内　７２６－６３４５

～困りごとを見逃さない・誰も孤立させない～

コロナ禍に負けない活動を！

～人と人の「つながり」を大事に～



今年の９月で新型コロナウイルスの流行が始まってから、約２年７ヶ月が経ちます。病床逼迫などで感染しても入院出来ないという恐怖も伴い、散歩や買い物の回数が減りました。

サロンなどの楽しみの中止で「行く所」「する事」「いつもの人と会えなく」なりました。

このような日常生活で、多く高齢者は体調不良、心配、不安が尾を引くようになりました。

昨今の社会問題として高齢者の孤立、若者の自殺、児童の貧困や虐待‥などが発生しています。その中でも特に高齢者の孤立死が多いようです。原因はコロナの流行によると分析され『社会的な孤独・孤立の問題』として取り扱われ大変深刻な状況になっています。

政府は、上記のような社会問題対処のため、昨年２月内閣府に『孤独・孤立対策担当室』を新設し「対応推進」の検討を始めたようです。

さて、コロナはいつ収束するのか、またまた繰り返される感染者の増減。とにかく大変な時期を迎えています。改めて幌北の福まちの『見守り活動』を見直し、再確認してみたく思います。

地域の福祉は、地域の住民が主体になり推進するものです。幌北地区は、各町内会の福祉推進委員会（町内会により名称が変わります）と民生委員が協力し合うようにしています。

見守り・安否確認の活動は、見守り世帯が安心して暮らせるための活動であり、見守り世帯の「困りごと」を見逃さない、見守り世帯を「孤立させない」が本来の目標と考えます。

加えて安心な暮らしには、人と人のつながりは不可欠です。この実現のため実践は「挨拶＋ひと声運動」を展開してきました。やさしい素敵な笑顔が生まれています。

見守り強化月間を設け、９月（７５才以上全員の方々）と１２月（見守り世帯の方々）には、手拭いを持参・訪問します。これらの活動には、ネオロス（北海道大学学生たちのボランティアグループ）も積極的に参加してくれております。

厳しい状況下だからこそ、福まち運営委員会の月例会は、情報の共有が必要と思い継続しています。「幌北地区福まち」への、ご意見をお伺いできましたらと思います。各位のご理解・ご協力をお願いいたします。

子どもたちの安心安全を願って

～幌北青色防犯パトロール ≪すずらん隊≫～

幌北防犯パトロール隊は、地域の子どもたちに親しみとやさしさとを感じてもらえるように「すずらん隊」と名づけて、平成１９年８月に連町防犯部役員と協力者の２９名（車両１６両）で結成されました。

隊員は、北海道警察署から承認を受け、自主防犯パトロールの身分証明書を携行し、車両は隊員の私有車ですが公安委員会から青色回転灯装備車として認定を受けた車両でパトロールをしています。　現在は創設１５年を経過して隊員７名、車両６両と少なくなりましたが全隊員の防犯意識は高く無事故で任務を遂行中です。

すずらん隊の活動は、定期パトロールと特別パトロール、地域の防犯に関する情報の提供と関係機関への協力、その他パトロール隊員講習会や研修会等を行っています。

定期パトロールは、子どもたちの安全を確保するため、小学校の下校する時間帯を中心に、青色回転灯を装備した車両により２名１組、車両１両で週１回パトロールを行っています。

パトロールする地域は、北九条小学校、幌北小学校、白楊小学校に通学する児童と北辰中学校に通う生徒がおりますので、幌北と鉄西地域の通学路を重点に行い、公園や過去に犯罪があった場所や発生しやすい危険な場所等の点検や見回りも含めて実施しています。

年末は空き巣や窃盗など犯罪の多発する時期となりますので特別パトロールとして「歳末特別防犯パトロール」を１２月１５日～３０日迄毎日午後６時頃からパトロールを行っていますが、その日のパトロールの参考にと、時々交番に立ち寄り犯罪や事故の状況などの情報を入手し、JR 札幌駅から地下鉄北１２条、北１８条、北２４条駅周辺と閑静な住宅街に不審者がいないか等を重点に巡回を続けています。

また、幌北小学校では子どもたちが地域の人や保護者の方と一緒に地域を巡回し、安全と危険な場所との違いを自分たちの目で確かめ、犯罪に巻き込まれないより良い地域を作ろうとする気持ちを子供たちに育ませるため「地域安全マップづくり」を行っていますが、その教育に隊員を派遣し、地域で犯罪の起こりやすい場所や危険なところ、子供１１０番の家などの安全な所を子どもたちと一緒に巡回し現地を確認する等、教育に協力しています。

このような地道な防犯活動が認められ、令和２年１１月に「安全で安心なまちづくり表彰」を札幌市長から受賞しました。すずらん隊は「地域の安全は地域で守る」ことを基本に考えて、地域の皆さんを犯罪から守り、特に子どもたちの安全を確保するために防犯パトロールを行っています。

子どもたちを狙う不審者や大切な財産を狙う空き巣は、地域で見守る「目」を何よりも恐れます。地域の安全を守るには、私たちすずらん隊や防犯部の人たちだけではなく地域の皆さん一人ひとりの力が大切になります。

ぜひ子どもたちの登下校時に声掛けをするなど、地域の防犯活動へのご協力をお願いいたします。

一人一人の顔が見える町内会を目指して

～幌北第７町内会～

町内会の将来を考えた時に、次の役員の担い手不足という課題が見えておりました。

また、世帯の大きい町内会としては加入率の低いことも課題としてあげられておりました。このような時に、札幌市主催の「町内会アドバイザー派遣制度」事業を知り、すぐに応募することにしました。この事業は、町内会が抱えている課題を解決するために、プロのアドバイザーを派遣してくれる制度です。

令和２年と３年の２年間で、通算８回の会議を開催することができました。会議では上記２つの課題を、町内会を紹介するリフレット（A4 判カラー４ページ）と、会員の声を聞くアンケート（１５項目）という具体的で目に見える形で取り進めました。

リフレットの内容ですが、テーマ別に３つに分けて町内会行事を紹介したり、町内会の範囲をわかりやすく地図にしました。また、年間行事や町内会費も載せて、未加入の方に関心を持ってもらえるよう工夫しました。更に、特に若い方々には、いきなり役員を期待するよりは先ずは行事のある時にサポーターという形のお手伝いをして頂く方法を考え、リフレットにQRコードを載せて、そこからアプローチできるようにし、同時に加入率アップに繋げていきたいと考えました。

一方、アンケート用紙の回答ですが、町内会活動としてこれから続けてほしいものとして、①新入学児童登校時の交通安全の見守り②一人暮らし高齢者の見守り③防災セミナー④町内美化活動などが上位を占め、新しい取り組みとして①飲食店と連携した割引サービス②ホームページの作成③お茶会などの交流イベントなどの提案がありました。

今回のリーフレットやアンケートの全世帯配付がきっかけで、町内会の存在や活動を知った方々がいて、とても意味のあるものとなりました。また、回答のあった方の中から１９名の方がサポーターに応募下さり、この中から１名が副部長、１名が班長として今年４月から活動下さっております。

今後は、今回のことを生かして一人のサポータから次の一人へと繋げて一人一人の顔が見える町内会を目指してまいります。

福祉除雪ボランティア募集中

高齢者の方々が、住み慣れた地域で、くらし続けるために応援してください。

札幌市と札幌市社会福祉協議会では、毎年 12 月から「福祉除雪事業を行っています。

この福祉除雪事業は、70 歳以上の高齢の方や障がいのある方など、積雪により冬季間の生活に不自由されている世帯に対して、地域の協力員さんが助け合い活動の一環として除雪作業を行う仕組みです。

除雪作業に加えて利用世帯の安否確認も兼ねており、地域住民がお互いに助け合う優しい街づくりの一つとして、雪国ならではの温かな取り組みです。今年も 12 月からの「福祉除雪事業」の実施に向けて、新たに除雪活動に協力していただける「地域協力員」を募集します。

活動内容

①除雪範囲　間口（道路への出入り口部分）を概ね 1.5m、敷地内は玄関先までの通路部分で歩行に支障のない８０㎝程度の幅を除雪をしていただきます。

②除雪日時　札幌市の道路除雪が行われた日（生活道路の新雪除雪のため、札幌市の除雪車が入った日）です。１２時ころまでに実施していただきます。

③除雪期間　令和４年年１２月１日（木）～令和５年３月25日（土）

募集内容

年齢・性別を問いません。一つの世帯をご家族、お仲間など複数の方で除雪いただくことも可能です。。

申込方法

ご協力いただける方は、北区社会福祉協議会に登録していただきます。

※　登録・お申し込みなどの詳細は北区社会福祉協議会へ

電話　７５７－２４８２

幌北地区福祉のまち推進センター